

人形浄瑠璃

文楽

通し
狂言

伊賀越道中双六

いがごえどうちゆうすごろく

仮名手本忠臣蔵と並ぶ敵討ち物の名作 二十一年ぶりに本格上演!

平成25年度(第68回)文化庁芸術祭主催
公益財団法人文楽協会創立50周年記念
竹本義太夫300回忌

11月文楽公演

平成25年 11/2(土)・24(日)

※13日(水)は休演

第1部 午前10時30分開演

第2部 午後4時30分開演

予約開始 10/3(木)午前10時～

〈電話〉国立劇場チケットセンター〔午前10時～午後6時〕

☎ 0570(07)9900

☎ 03(3230)3000 (PHS・IP電話)

字幕表示が
ございます

〈インターネット〉※一般のみ

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> [パソコン]

窓口販売開始 10/4(金)チケット売場〔午前10時～午後6時〕

ご観劇料 ※障害者の方は2割引(1等一般のみ)

[1等]一般 5,800円・学生 4,100円

[2等]一般・学生とも 2,300円

[通し料金] 1等 9,800円

団体観劇(10名様以上)のお申し込みは 営業課営業会員係まで

団体予約受付中 ☎06(6212)5782

 国立文楽劇場 (大阪)

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
☎06(6212)2531(代) <http://www.ntj.jac.go.jp/>

再生紙を使用しております

「岡崎の段」より
撮影:青木信二

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE

2013.11
UNRAKU
文楽
12500無形文化遺産
Intangible Cultural Heritage

平成二十五年(第六十八回)文化庁芸術祭主催
公益財団法人文楽協会創立五〇周年記念・竹本義太夫三〇〇回忌

伊賀越道中双六

平成25年
11月2日(土)
~24日(日)
13日は休演

鍵屋の辻の決闘(一六三四)は伊賀越の仇討ちとも呼ばれ、様々な文芸に取り上げられました。事件から百五十年が経とうとする天明三年(一七八三)に大坂竹本座で人形浄瑠璃として初演されたのが、「伊賀越道中双六」です。人形浄瑠璃文楽・歌舞伎の共通演目を数多く残した近松半二の絶筆です。物語を応仁の乱後の時代とし、敵を討つ者・討たれる者・助力する者の運命が道中双六の駒のように変転します。今回の公演は、一日がかりで一つの作品を上演する「通し狂言」で、平成四年以来二十一年ぶりとなる本格的なものです。竹本座の伝統を受け継ぐ文楽が、総力を挙げて取り組みます。

第一部 午前10時30分開演

鶴が岡の段/和田行家屋敷の段/円覚寺の段
唐木政右衛門屋敷の段/誉田家大広間の段
沼津の段

第二部 午後4時30分開演

藤川新関の段/引抜き/寿柱立万歳/竹藪の段
岡崎の段/伏見北国屋の段/伊賀上野敵討の段

第一部

午前10時30分開演(午後3時45分終演予定)

八幡宮の警護役上杉(史実の池田)の家臣和田志津馬(渡辺数馬)は、和田家伝来の名刀正宗を狙う同僚沢井股五郎(河合又五郎)の謀で、傾城瀬川と逢引し、失態を演じます。
股五郎は志津馬の父で病中の和田行家を見舞うと見せかけ、正宗を奪おうとしますが失敗し、行家を殺害して逃亡します。



唐木政右衛門屋敷の段



沼津の段



岡崎の段

「文化デジタルライブラリー」では、「伊賀越道中双六」のあらすじや見どころなどをわかりやすく紹介しています。

文化デジタルライブラリー 伊賀越 検索

股五郎は一族の沢井城五郎を頼り、足利(徳川)の昵近(直参旗本)によって円覚寺に匿われました。上杉家は股五郎の母鳴見と股五郎を交換しようとして佐々木丹右衛門を交渉役に立てます。ところが鳴見は自害を図り、丹右衛門は昵近業に襲われて落命、志津馬も重傷を負ってしまいます。この間に股五郎は、沢井家出入りの呉服屋十兵衛の手引きで脱出します。
大和郡山誉田(本多)家に身を寄せる唐木政右衛門と行家の娘お谷は、親の許しを得ずに夫婦となりました。お谷の弟志津馬の助太刀をするために、政右衛門はお谷と別れ、お谷の妹で七歳のおのちと祝言を挙げます。剣術指南役を決める御前試合で、政右衛門は股五郎の伯父桜田林左衛門に勝ちを譲りますが、敵討のためと見抜いた誉田大内記は、政右衛門を送り出すのでした。
十兵衛は沼津の里で老雲助平作を雇いますが、その平作こそ二歳の時別れた実父だったことが分かります。さらに妹に当たるお米が傾城瀬川であることを知った十兵衛は、負傷した志津馬のために印籠を残して名乗らずに去ります。千本松原で追い付き、命を断って股五郎の消息を尋ねる平作に、十兵衛は股五郎の行き先を明かし、親子の対面を果たすのでした。

藤川には関所が新たに設けられていました。通り切手(通行証)を持たぬ志津馬は、茶店の娘お袖の力を借り、遠眼鏡(望遠鏡)に夢中になっている飛脚の助平から切手を手に入れます。股五郎と林左衛門が関所を通過した後、政右衛門は抜け道を探して竹藪へ。
志津馬は岡崎の郷土でお袖の父山田幸兵衛に会い、お袖が股五郎の許婚であることを知ると、股五郎に成りすまします。関所役人に追われた政右衛門は追手を苦もなくあしらひ、その様子を見た幸兵衛は、家に招きます。実は幸兵衛は政右衛門が庄太郎と名乗っていた幼い頃の武術の師匠だったのでした。幸兵衛は政右衛門とは知らず、股五郎の味方を頼みます。そこへお谷が生れたばかりの己の助を抱え、たどり着きますが、政右衛門は敵討の妨げになるとお谷を門外に追い出します。幸兵衛の妻が子どもが政右衛門の子と気付いたため、政右衛門は手を手に掛けてしまいます。
政右衛門と志津馬を対面させた幸兵衛は、子を犠牲にした政右衛門の心底を認め、股五郎と縁を切ることにするのでした。
伏見の宿屋で眼病を装う志津馬は、同宿した林左衛門から股五郎の居場所を聞き出すことに成功します。そこへ現れた十兵衛は志津馬に討たれ、股五郎が伊賀越で九州に向かうことを明かすと、瀬川のことを志津馬に託しました。
股五郎一行を待ち受けた志津馬、政右衛門は見事に敵討を遂げるのでした。

第二部

午後4時30分開演(午後8時40分終演予定)



予約開始
10月3日(木) 午前10時~
〈電話〉 国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]
☎ 0570(07)9900
☎ 03(3230)3000 [PHS・IP電話]
〈インターネット〉 <http://ticket.ntj.jac.go.jp/> [パソコン]
※一般のみ
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> [スマートフォン]
※この公演はインターネット予約の順、座席選択をご利用いただけます。
※詳しくは上記ホームページをご覧ください

ご観劇料
[1等] 一般 5,800円・学生 4,100円
[2等] 一般・学生とも 2,300円
[通し料金] 1等 9,800円 ※通し料金は電話予約・窓口販売のみの取り扱いです。
※障害者の方は2割引(1等一般のみ)
※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。
※便利な見席もございます(詳細はお問い合わせください)
一般のみの取り扱い 10月3日(木)より
チケットぴあ …… ☎0570(02)9999 [Pコード426-205]
ローソンチケット …… ☎0570(000)407 [Lコード59344]
e+(イープラス) …… <http://eplus.jp/> [パソコン・携帯]
JR日本(京阪神地区)の主な駅のみどりの窓口
※「みどりの窓口」では10月3日の午前11時からの取り扱い。

窓口販売開始
10月4日(金) [チケット売場 午前10時~午後6時]
※窓口販売用別枠でのお取り置きはございません

国立文楽劇場 <http://www.ntj.jac.go.jp/>
〒542-0072 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号 06(621)2531(代) ※駐車場がございます。お車でのご来場はご遠慮下さい。